

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2016年 5月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2016年 5月1日発行 通巻277(毎月1回発行)

**残雪期**

**天候の急変に**

**要注意！**

## 4月号目次

|                  |    |
|------------------|----|
| ・ 目 次            | 2  |
| ・ 理事会報告          | 3  |
| ・ リレーエッセイ・中原 紀代治 | 4  |
| ・ ベトナム登山報告       | 5  |
| ・ 初級登山講習会        | 10 |
| ・ 第10回ワンコイン講習会案内 | 11 |
| ・ 「ちば労山ゆう」通常総会報告 | 12 |
| ・ ゆう便りNO—19      | 13 |
| ・ 県連便り           | 15 |
| ・ 県連予定表          | 16 |

### 表 紙 説 明

ヴェトナム最高峰・ファンシーパン山頂での記念撮影です。  
県連50周年記念事業、バリ島サンライズトレッキングに続く第2弾です。  
バリ島で一緒になったメンバーが中心で、気心の知りあった仲間の楽しい山行だったとの事です。会・クラブの枠を超えた、県連の山仲間としての付き合いをいつまでもお願いします。  
今回もまた、安彦さんにお世話になりました。  
ありがとうございました。

## 第1回・理事会報告

千葉県連盟役員会

2016年度・第1回県連理事会の報告をします。

- ◆ 実施日時：2016年4月21日（木）19時～
- ◆ 実施場所：船橋市西部公民館
- ◆ 参加会：ちば山の会・茂原道標山の会・船橋勤労者山の会・松戸山の会・東葛山の会・千葉こまくさハイキングクラブ・山の会らんたん・山の会「岳樺クラブ」・かがりび山の会・岳人あびこ・ふわくハイキングサークル・まつど山翠会
- ◆ 議題
  - 1：委員会報告
    - ・ 教遭委員会：雪上技術講習会、谷川・マチガ沢雪が少なく中止になった。  
：初級登山教室 6月11日（土）鹿沼岩山
    - ・ 自然保護委員会：統一クリーンハイク  
6月4日（土）七里川温泉（泊）報告会・交流会  
6月5日（日）クリーンハイク 七里川溪谷で実施
    - ・ 女性委員会：第10回ワンコイン講習会 6月19日（日）  
久しぶりに、石田良恵先生を迎えて「山筋ゴーゴー体操」
    - ・ ハイキング委員会：ウィークデイハイキングは、県連50周年交流会と合同で実施する方向。（2017年1月予定）
  - 2：50周年事業について
    - ・ 「房総の山50選」各会・クラブからの山行報告書をまとめる作業に入っている。完了しだい県連ホームページに掲載し、50周年記念誌にも掲載する。
    - ・ 記念誌実行委員会を中心に、50周年記念誌を年内に完成する。
    - ・ 記念交流会（仮題）は、2017年1月14日（土）15日（日）に実施する。
  - 3、ふれあいハイクについて  
5月29日（日） 鹿野山 バス3台で実施。
  - 4、熊本地震救援募金の訴え  
全国連盟の呼びかけに対し、千葉県連盟としても実施する。詳細については、各会・クラブの県連理事・県連会長・広木まで連絡をお願いします。
  - 5、全国連盟機関紙「登山時報」購読のお願い。各会・クラブで議題にして下さい。
  - 6、新年度・委員会担当理事が決まりました。
    - ・ 教育遭難委員会：山崎 理事・丸山 理事・三辻 理事
    - ・ 組織委員会：斉藤 理事・岸本 理事・戸石 理事・坂巻 理事
    - ・ ハイキング委員会：高見 理事・吉沢 理事
    - ・ 自然保護委員会：桜庭 理事・小林 理事・末野 理事
    - ・ 女性委員会：佐藤 理事・救助隊：吉田 理事
    - ・ 浅川 理事・阿部 理事・佐藤 理事 は、欠席のため後日決定します。

## 房総・ 二つのバリエーションコース

(房総の山 50 選から)

中原紀代治 (ふわくハイキングサークル)

### \*伊予が岳の北コース

通常は、天神社から上り東屋の所から北西へ直登しますが、北コースは、15 年前にロングハイクで上った藪こぎの記憶が有りました。今回は、関沢から林道を車で、北コース入口近くまで行き、テープを頼りに西方向に歩きます、意外に踏み跡がしっかり有り、南東方向の尾根道に取り付きます。滑り易いが通常の東屋からの直登より歩き易い登山道になっていました。最初に三角点の北峰に上り富山の絶景を見て 10 分で岩の凄い南峰に着きました。通常コースの下りはロープの連続で以前より荒れていました。東屋から左折れ北へ登り返すと河津桜の広場があり、ここで花を見ながら昼飯を食べて出発点に戻りました。

### \*富山の西尾根コース

富山の登山コースは、通常は、富山中学校の手前の駐車場から伏姫籠窟の有る所を経由して北峰（金毘羅峰）上がりピストンするか、福満寺の登山口から南峰（観音峰）から北峰（金毘羅峰）に行き、二つのコースを繋ぎ周回下山します。他に伊予が岳から吉井部落通り林道を歩いて上がる（車で上がれる）コースが有ります。

今回のコースは、道の駅「富楽里とみやま」から出発して県道 89 号の信号からガードをくぐり抜けてすぐに右へ富山中学校方面 300m の交差点に案内板のある登山口からだ。東方向の階段から登り一本道だ。いきなりの急登のアップダウンが続く、三つのピークを通過し伏姫籠窟の分岐が有るが直進して痩せ尾根やロープの有る道が続く、なぜかカヤ（萱の木）とバクチの幼木が多い。アオキの木も有り鹿は居ない様だ。最後は竹林が有り約 2 時間余りで北峰の展望台の下に着いた。三角点を触り、展望台に上る、東京湾の向こうに丹沢山や富士山が見える。帰りは、通常コースの伏姫籠窟を見て、富山中学校を回り出発点に着いた。



富 山



伊予が岳

県連創立 50 周年記念海外登山 第 2 弾  
『ヴェトナム最高峰ファンシーパン 3,143m 登頂と  
世界遺産ハロン湾クルーズ』を楽しんで…

安彦秀夫（東葛山の会）

日程：2016 年 4 月 12 日（火）～19 日（火）＜7 泊 8 日＞ 16 名  
参加者：東葛 7、こまくさ 3、ちば 2、らんたん 2、シリウス 1、茂原 1  
（男性 6 名、女性 10 名）

急遽決まったヴェトナム・トレッキング！

参加者 16 名で、一足早い 3,000m 峰の夏山登山と棚田トレッキング、そして観光、更に、ビールを全身で堪能してきました。

### <1> はじめに

今年の 1 月 30～31 日の県連恒例行事『房総ロングハイク』の七里川温泉で、昨年 10 月のバリ島サンライズ・トレッキング参加者から、『ヴェトナム・トレッキングを是非企画して欲しい…』と熱望されました。

私も、以前から気になっていた山でしたので、『4 月頃に 10 名規模で企画してみましょう！』と、つつい返事をしてしまいました。

ヴェトナム・トレッキングを実施している旅行会社数社に、メールで希望を連絡し、日程と旅行費用などを提案してもらいました。

その中で、メールや電話での対応、そして、私の希望を最大限に考慮していただいた『株式会社ワイルド・ナビゲーション（宮田さん）』に、今回のトレッキングをお願いすることにしました。

バリ島サンライズ・トレッキングの参加者に対して、募集案内をメール配信し、会の皆さんにも呼びかけを依頼しました。

その結果、予想を上回る 16 名の参加希望者があり、現地移動手段、登山コース、装備、下山後の観光、食事等について煮詰めていきました。

今回は、募集から実施まで日にちが少なかったことと、参加者（1 名除く）は、バリ島で一緒であったことより、顔合わせをする必要もないと考え、メールにて随時情報を配信し、参加者からは、疑問や希望などをメールにて伺いました。

その結果、大きな問題もなく、成田空港に全員が集合できました。また、旅行会社の宮田さんにも来ていただき、最後の注意事項などをしていただきました。

### <2> 専用車にて山麓の町サパへ

ハノイ空港で、迎えの英語ガイド（ハイさん）と無事逢うことが出来ました。でも、プラカードは上下さかさまでしたが…。両替をし、駐車場に移動し、専用車に荷物を積み込み、一路今宵の宿へ向かいました。

ハノイ空港から専用車で、北西へ約 350km を、田園や山間、そして紅河（ホン河）や鉄道に沿った高速道路を快調（？）に走り、途中パーキングで 1 回の休憩を取り、高速を降りた後は、急峻なくねくねした道を、ライトを頼りにやっとのことで登りきって、ファンシーパンの山麓（1600m 前後）にある『サパ』の町に着きました。

高速道路走行中に、警官に止められ、何やら罰金（？）を取られていたような…。ということで、5 時間半以上のロングドライブでした。

### <3> 棚田トレッキング

ホテルで、ファンシーパンを見ながら朝食を摂った後、ガイドと一緒に、少数民族が住む山

麓（谷間）に広がる棚田トレッキングに出掛けました。

民族衣装を着た少数民族（モン族）の女性数人が、ズーと一緒にサパに機織り製品を売りに来ての帰りのようでした。

水牛、豚、アヒル、鴨、鶏などが、田畑やあぜ道で草を食べています。見渡す限り、谷間から山まで棚田が一面に広がっています。歩いても歩いても、棚田の連続です。

まだ水の張っていない田んぼが殆どでしたが、1ヶ月もしない内に田植えが始まるそうです。涼しい気候の為、日本と同じく、稲作は年1回だそうです（ハノイなどの南部では、年2回の事です）。

川では、子供たちが水遊び中で、賑やかな声が響き渡っていました。また、集落では、小さな子供が下半身丸出しで手を振っている姿がかわいらしかったです。

途中、唯一のレストラン(?)で昼食を摂り、その後も棚田をイヤというほど満喫しました。時々、あぜ道や小川を歩く所もあり、誰かが足を滑らせたようでした。

昼食含めて6時間45分のトレッキングを終え、迎えの車にてサパに戻りました。

#### <4> ファンシーパン登山 第1日目

トレッキングに必要な荷物(ザック)、ポーターに預ける荷物(スタッフバッグ)、そして、登山に必要な荷物(スーツケース)に分け、ホテルロビーに集合しました。

ポーターに頼む荷物について、ガイドから『ポーターは食料やシュラフなどを担ぎ上げるので、荷物は預からない…』と言われましたが、何度かの押し問答の末、預かって貰うことになりました。(旅行会社からは、一人8kgまで預けることが可能と言われていました。)

スーツケースの保管をホテルに依頼し、迎えの車に乗り込み、登山口へ向かいました。

20分ほどで登山口に到着。一斉にポーターが車に寄ってきて、それぞれが私たちの荷物を縛り付けていました。と同時に、『水500ml ペットボトル4本』と『トイレットペーパー1巻』が配布されましたが、即、これらもポーターに預けました。

公園管理事務所の職員(?)から簡単な登山の注意事項の説明の後、韓国、日本、タイの国際色豊かな混合ハイカーが、一列になり、歩き出しました。私達以外は、皆若い男女でした。歩き始めて直ぐ、タイからの女性に話しかけられました。

『最高齢は何歳ですか?』

『70歳を過ぎていますよ! 私は、67歳ですが…』

『えっ!?』 (何を意味しているのでしょうかね?)

翌日泊まる山小屋に着き、休憩と昼食を摂り、再び、歩き出しました。岩場を通り、コンクリート製の手すりを頼りに、アップダウンを繰り返し、日の高いうちに、今宵の山小屋に全員が辿り着きました。

ポーターが夕食の準備をしている間、小屋の外で、期待していなかった缶ビールで喉を潤すことができました(但し、在庫の関係で、先着6名様の特典?でしたが…)。

夕食時に、地元の酒が振る舞われました。焼酎かな…? 美味しい…とは決して言えないモノでした。でも、コップに分けられた酒は、いつもの調子で飲んでしまいました。又、他の人の紙コップの酒もいつの間にか私のカップに注がれ、結果として飲み過ぎたようでした。お蔭で直ぐ眠りに就くことはできましたが…。しかし、翌日は大変でした! 歩

行時間: 6時間15分(昼食・休憩含む)

#### <5> ファンシーパン登山 第2日目(登頂)

昼食は、泊まった山小屋に戻ってきて摂るため、荷物を少なくして小屋を出ました。緩やかなトラバース道を進み、電柱のある峠に着くと、目の前に、ファンシーパン山頂が見えました! でも、かなり下まで崖を急降下し、登り返さなければならないようです。『歩くしかない…』と覚悟し、歩を進めました。

シャクナゲが疲れを癒してくれました。がれ場を通過し、ロープウェイの下をくぐり、多くの観光客がいる石段の途中に出ました。ここからが、大変！

(今年2月に開通したばかりのロープウェイ山頂駅から山頂まで、石段は600段あるそうです。私たちは、ちょうど半分の途中から石段を歩きました。)

山頂までの急な石段をひたすら登り、やっと山頂へ。しかし、あまりにも多くの観光客がおり、喧噪のみで、登頂の感慨を味わう雰囲気などは全くありませんでした。

やっと人ごみの中で記念写真を撮り、早々に下山し、山小屋に戻り、昼食を摂り、更に今宵の山小屋まで下りました。

ここでも、冷たい(?)ビールを味わうことができました。在庫がなくなったということで、下から担ぎ上げてきたばかりのビールも飲むことができました。

歩行時間：8時間15分(昼食・休憩含む)

### <6>ファンシーパン登山 第3日目(下山)

小屋近くの丘に登ると、朝日を浴びているファンシーパンが綺麗に見えました。

朝食を摂り、記念撮影をし、後ろ髪を引かれる思いで登ってきた道を下山しました。ポーターは、荷物も半減したのか、足取りは登り以上に軽い感じでした。

途中より、山麓を巻く感じの道に進みました。10年ほど前に山火事があったとのことで、黒い大きな木々がところどころに残っていました。

皆快調に歩いているようです。振り返ったらファンシーパンが見えます。『あそこに登ったんだあ…』と思うと、感慨もひとしおでした。その後も、見通しのきく場所では何度も何度も振り返り見ました。

登山道脇にある小さなタケノコを口にしましたが、えぐみが口の中に残りました。また、野生の小さな青いリンゴ(?)を採り、かじりましたが、酸味がありました。未だ、食べごろではないようで、熟すと、赤みや黄みが付いてくるそうです。

山麓の村に着いたので、これで終わりかな…と思ったら、その後も、棚田や民家の中を延々と歩きました。日差しが付かれた身体に応えます。

やっと、シンチャイ村に辿り着きました。長かったあー！

冷たいビールで渴いた喉を潤し、迎えの車でサパへ戻り、昼食を摂った後、ホテルに戻りました。交代でシャワーを浴び、3日間の汗と埃を洗い流しました。

歩行時間：4時間(休憩含む)

### <7>サパから中国国境の町ラオカイ、そして寝台列車でハノイへ

2台の車に分乗し、ラオカイへ向かいました。車窓から幾度となく夕日の沈む先に見え隠れするファンシーパンを振り返り見ました。

ラオカイ駅前のレストランで夕食を摂り、5日間お世話になったガイド(ハイさん)と別れ、夜行寝台列車の人となりました。

1室4名(2段ベッド2列)ですが、荷物が多いということで、1室2名ずつの手配をしていただき、下段のベッドに身体を休ませました。車輪の音と揺れが気になりましたが、いつの間にか眠っていたようです。

### <8>ハロン湾クルーズとハノイ市内観光

ハノイ駅で日本語ガイド(ニーさん)と合流し、迎えの車にてホテルへ移動し、シャワーを浴びた後、屋上のレストランで、どんよりした空模様の下、オートバイや車の音を聞きながら、でも、気持ちの良い風を感じながら、朝食を摂りました。

専用車で市内を抜け、途中、土産物店で休憩した後、ハロン湾に向かいました。

『夜に強風』の予報があり、船上泊が出来ないということで、荷物は車に残し、クルーズ船に乗り込みました。



乗って直ぐ、昼食を摂り、食事後はデッキに出て、海風を感じながら奇岩怪石の島々をのんびりと眺めました。小船で島に渡り、鍾乳洞『ティエンクン洞』を見学しました。この島には、綺麗な白砂の浜があり、泳いでいる人もいました。聞いたところによると、この白砂は観光用に運んできたそうです。

クルーズ船に戻り、デッキで『野菜アレンジメント』の妙技に目を見張りました。トマト、人参、きゅうり、大根を専用ナイフで切り、花や鳥などを作り上げていきました。これには、皆溜息でした！

約5時間のクルージング後、港近くのお寺『ロンティエン寺』や市場などを見学後、夕食を摂り、急遽泊まることになった高級ホテルに無事着き、明日の朝食時間と集合時間を確認し、各部屋に分かれました。帰りの支度をした後、思い思いにヴェトナムの最後の夜を過ごしたことを思います。

朝食後、専用車にて陶磁器の村『バチャン』に寄りました。飲茶セットをお土産に買った人もいたようです。

その後、ハノイ市内に戻り、時間と体力の許す限り、名所旧跡を精力的に歩き回りました。ガイドが言うには、こんなに歩き回ったのは初めてだとか…。驚いていました。

一柱寺、ホーチミン廟、タンロン遺跡（旧ハノイ城：国旗掲揚塔、正北門など）、ベトナム軍事歴史博物館、ホアンキエム湖、玉山祠、ハノイ大教会 ……

水上人形劇を鑑賞し、最後の夕食を地元の生ビールで楽しんだ後、空港に向かいました。夕食のレストランで応対した女性は、日本語を大学で学んだとか…。

チェックインを済ませたところで、2日間お世話になったガイド（ニーさん）に別れを告げ、誰一人問題なく、出国手続きを済ませ、各々が最後の買い物をし、沢山の思い出を胸に抱き、機上の人となりました。

## <9>えっ！ そんなことあり…？

① 山小屋1泊目では、部屋に閉じ込められました。夜中にトイレに起きたのですが、外から鍵が掛けられており焦りました。ドアをガタガタさせたので、気が付いて貰い難を逃れることができました。二人が、部屋の両隅に静かに寝ていたので、誰もいないと思われたようです。

② 登山中の水は、『毎日 500ml ペットボトル 4 本』支給ということでした。事前に『2 本』と聞いていたので、何度もガイドに確認しましたが、やはり毎日 4 本とのことでした。しかし、結果は、2 本でした。山小屋 2 泊目の夜に、ガイドから『すみません』と謝られました。

③ ガイドから、下山後のシャワーは、最初に泊まったホテルに 2 室確保していると説明されていたのですが、直前になり、『部屋が確保できないので、歩いて数分の所でシャワーを浴びて欲しい…』と、変更の申し出がありました。

事前説明と違うことを強く言い、このホテルで何とかシャワー（2 室）を使用できるようにして貰いました。（旅行会社からは、『小さなホテルでシャワー利用…』と言われていたので、内心は、ガイドの言うように、他でも仕方ないかな…とと思っていましたが…）シャワーを待つ人は、荷物の整理が出来たので、助かりました。

④ ハロン湾オーバーナイトクルーズ（船上泊）の予定でしたが、強風予報の為、5 時間のクルーズに変更になりました。

その結果、代替の夕食とホテル宿泊となり、思いがけず、高級ホテルに泊まることができました。翌朝には、ホテル最上階のレストランで、ハロン湾を眺めながらの朝食ビュッフェを楽しむことができました。

また、昼食までクルーズの予定でしたが、午前中の予定が空白になったため、急遽、陶磁器の村『バチャン』に寄ることにしました。更に、ハノイ市内を十分に散策でき、ホーチ



ミン廟では衛兵交代を見学することも出来ました。

## <10>おわりに

準備から実施まで十分な時間が無く、慌ただしい参加者募集となり、県連所属の 全ての会に案内が出来なかったことをお詫びします。

現地では、予期せぬことが次から次と多く発生し、その都度、参加者の皆さんにはご心配をお掛けしました。にも拘わらず、気持ちよくご協力いただきましたことに改めて感謝します。(私自身が納得できないことは、とことんガイドやホテルの人達と交渉しました。)

ラオカイでの夕食時に、『インドシナ半島の屋根：ファンシーパン登頂証明書』と『記念メダル』を、思いがけず全員に貰い、皆でにつこり…。思い出に花を添えてくれました。

ヴェトナムの料理(味)は、私達日本人に違和感がないようです、ホテルやレストランでの食事は、皆、『美味しい、美味しい…』と箸の動きがスムーズだったようです。また、食事の度に飲むビールも美味しかったです。お蔭かどうかは分かりませんが、体調を大きく崩した人はいなかったように思います。

参加者が、満足感・達成感に浸っている姿に接することが、企画者としての最大の喜びです。今後も機会を見て、同様なトレッキング(観光含む)を実施していけたら良いなあ～と思っています。

(2016/4/27/Wed.)



ト  
カ  
ツ  
ト  
滝



2  
日  
目  
泊  
山  
小  
屋

- ・県連創立50周年事業として、バリ島サンライズ・トレッキング、今回のベトナム・ファンシーパン登山を実施しました。千葉県連盟からは、海外で登山・トレッキング・クライミング等を多くの会員が楽しんでいます。
- ・50周年記念海外事業を記念して、会員の海外情報を持ち寄り、交換会などを計画したいと思います。ぜひ、興味のある方は参加・協力をお願いします。

## 2016 初級登山講習の案内

県連教育遭難対策委員会

近年の県連発生事故では、高齢者の転倒等が継続発生している現状に加え、各会で初心・初級登山者が増加している事を勘案して、事故防止の取り組みへはセルフレスキュー（応急処置等）の基礎講習が必要と判断します。14年15年に引き続き本年度も、主に初心・初級者を中心とした実技講習を実施します。尚、今回は参加の利便性に考慮し、単日で行います。ので、各会よりの積極的な参加を望みます。

### 記

- 1) 日程：6／11（土）
- 2) 場所：栃木県鹿沼市・岩山
- 3) 集合：鹿沼岩山登山口 9：30
- 4) 交通：東武日光線新鹿沼駅下車 8：46 徒歩で集合場所へ移動。  
＜注＞現地（岩山入口の日吉神社）に駐車スペース無し。
- 5) 実技：9：30－15：30
  - ①ストレッチ（ウォームアップ）
  - ②歩行講習（岩場の歩行）
  - ③地形図とコンパスの使用法
  - ④支点作りと自己ビレー（確保）：県連救助隊推奨7点セットを使用
  - ⑤岩場の登下降とトラバース（危険地帯の通過と危険回避）
  - ⑥ツェルトビバーク
  - ⑦事故時の応急処置と搬送法
  - ⑧クールダウン
- 6) 実施規模：40名程度
- 7) 個人装備：雨具 ストック 行動食 県連7点セット  
＜スリング長1 短2 補助ロープ10m カラビナ2 環付カラビナ1＞  
シルバコンパス テーピングテープ 三角巾
- 8) 共同装備：各会毎 ツェルト 補助ロープ＜8\*30m＞
- 9) 参加費：500円／人
- 10) 申し込み先／期日：各会理事より5／21までに教育遭対委員会 伊東へ  
＜itou2385@yahoo.co.jp＞ 申込書は別途送付。
- 11) 各会責任者打ち合わせ：6／2（木）19:30～県連事務所にて
- 12) 雨天決行：但し、大雨等の場合は中止。
- 13) トイレ事情：現地に適所無し。駅前で出発前に済ませ、携帯トイレは各自で。
- 14) その他問合せ先：遭対委員会 岡田 [ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp) 043-271-4704

女性委員会 毎度おなじみの

# 第10回・ワンコイン講習会

テーマ

## 楽しく学ぶ 正しく学ぶ 体に優しい トレーニング

実施日 2016年 6月19日(日) 13時～16時30分

場 所 船橋市西部公民館・2F会議室・体育レク室

(JR総武線・下総中山駅下車 徒歩10分)

参加費 ワンコイン(500円)

講 師 石田 良恵 先生

紹 介 ・女子美術大学名誉教授

・日本ウエルネススポーツ大学教授

・1981年より東京大学大福永哲夫教授のもとで、  
身体組織の研究に従事

・1989年～1990年フロリダ大学スポーツ科学  
研究室客員教授(専門は主に皮下脂肪・減量・加齢)

定年退職後、登山に目覚め。日本の山からインドヒマラヤ・キリマンジャロ  
ブータン・台湾などに登っている。登山を通じて筋トレの必要性を実感して  
特に、高齢者が「何時までも、登山を続ける」ために「山筋ゴーゴー体操」  
を考案し、全国規模で普及活動中している。

### ◆ ワンコイン講習会とは

女性委員会では、いつまでも山に行ける体力を維持するために

「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習を行なっています。

大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

### ◆ 問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

主催 千葉県連盟女性委員会

## 第4期 NPO 法人ちば労山ゆう通常総会報告

理事長 吉田哲治

ちば労山ゆうの第4回目の通常総会が4月14日、船橋市西部公民館において開催されましたので概要をご報告致します。3. 1 1より6年目に入った東北被災地の現状を鑑み、ちば労山ゆうは今年度も被災地に寄り添う活動を続けていきます。今後ともご支援・ご協力よろしくお願い致します。

### ● 2015年度の活動報告

#### 1. 会員数

正会員 104 名          賛助会員 99 名

#### 2. 現地災害支援

6回(福島3回、牡鹿3回)    延べ人数 92 名 (福島 51 名、牡鹿 41 名)

現地での支援活動を石巻(牡鹿)より福島へと移してきた一年だった。福島での活動は、避難指示解除準備区域である南相馬市小高地区で「南相馬市ボランティア活動センター」の下、個人宅の庭木の剪定や家財道具の片付けなどを手伝っている。私たちの活動はほんの小さなものだが、今は避難している方々が少しでも帰還に望みが持てたらと思うし、福島の原発事故すらも風化していく中で福島を忘れることなく寄り添う支援であり続けたいと思う。

#### 3. 事業活動

気仙沼とろろこんぶ・わかめ等幹旋販売

#### 4. 財政補助

交通費の負担を一人当たり律 2,000 円として個人負担の軽減を図った。

### ● 2016年度の活動方針

#### 1. 現地災害支援

牡鹿における漁業支援は継続するが、軸足は福島とする。

##### \* 支援の日程

|                  |            |
|------------------|------------|
| 4月23日(土)~24日(日)  | 夜行1泊2日(福島) |
| 6月18日(土)~19日(日)  | 夜行1泊2日(福島) |
| 7月9日(土)~10日(日)   | 夜行1泊2日(牡鹿) |
| 9月10日(土)~11日(日)  | 夜行1泊2日(福島) |
| 11月12日(土)~13日(日) | 夜行1泊2日(福島) |
| 3月4日(土)~5日(日)    | 夜行1泊2日(牡鹿) |

\* 他にも、参加可能なメンバーを募り、1,2回ほど平日での実施を検討する。

#### 2. 他の現地活動

##### ・ 記念植樹、鎮魂碑建立

谷川浜に記念植樹および鎮魂碑の建立(候補地として洞福寺)、それに向けて広く募金を募る

##### ・ 原発被災地視察の検討

#### 3. 事業活動

被災地の産直品販売(気仙沼とろろこんぶなど)の継続

#### 4. 財政補助

交通費補助の継続(2,000 円/人自己負担、それを超える分の補助)

## ゆう便り NO—19

(2016年4月 南相馬支援活動報告)

鶴田 秀雄 (ちば山の会)

ゆうとしては今年初めての南相馬小高地区の支援に行ってきました。

小高地区は2016年の3月末で立ち入り制限が解除され帰宅できることになると聞いていたので、その兆しを感じることができかなと期待を持っていきました。

しかし、私たちが見聞きした限りではそのような動きを感じることはできず、予定通り制限が解除された地区と制限が延長される地区に2分され、5月に両住民の方の話し合いが行われるそう（今回支援先のお宅のご主人のお話し）、帰還という問題の複雑さを改めて思いました。

日程：2016年4月23日（土）～24日（日） 22日夜千葉発 天候は両日とも晴れ

参加者：5名

活動場所：福島南相馬市小高地区

活動内容：1日目 個人宅跡の裏山斜面竹林からの竹の切り出し裁断他

2日目 個人宅庭に敷き詰められたレンガ剥がし

(1日目作業)

いつものボランティア・センターに集結した人数は通常の半分以下の50人くらいで、センター長のお話では熊本に行かれた人が多いとのことでした。我々の行く先はV.C.からすぐのところにある個人宅跡。広大な敷地に石造りの蔵、そして石と盆栽樹木の築山のみが残っている。敷地奥の斜面には竹林と杉林。作業は竹の伐採と盆栽樹木の伐採。竹は太いので直径15cmくらい。根元を切断、斜面から引きずり出して枝葉を落とし、トン袋に収まるように90cm長さに切断。切断はチェーンソーで行ったが、いうことを聞かない機械に担当したTさんは格闘の連続でした。枝葉落としは植木ばさみ、鋸、鎌などで行った。また盆栽樹木は丈はないものの太さはしっかり。どの作業もなかなか大変でしたが、周囲の新緑が目に染み、青空のもと心地よく疲れました。

(1日目宿泊)

いつもの峠の森自然公園キャンプ場。風が強く建物裏に場所を変えて快適な一夜を過ごした。

(2日目作業)

ここもV.C.の近くの指定された個人宅に伺うと、立派な家屋と庭園で、手入れの行き届いた庭木と家屋の間の平地にレンガが敷き詰められている。レンガを剥がすのがはばかれるような落ちついた雰囲気でした。作業開始後しばらくして家主がお見えになり、「帰還を機会に築35年の家を建て替えるので重機で碎かれないようレンガは剥がして再利用する」とのお話でした。穏やかそうなお風貌の家主さんとしばしの語らい。依頼主の方との直接の触れ合いはやはりいいものです。予定の正午少し前に作業は完了、剥がしたレンガは庭の一角に積み上げました。



### (V.C.近くの宿泊地探し)

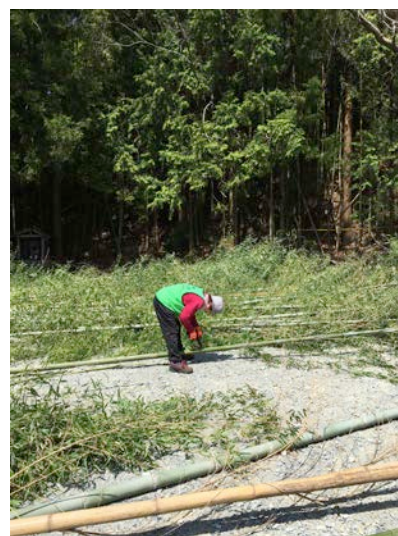
峠の森自然公園キャンプ場は環境と雰囲気は申し分ないのですが V.C.から遠いので、どこか近くでいいところはないか探してみようということになった。2日目朝 V.C.に行く前に標識に従って「高の倉ダム」を目指した。ここは V.C.から近く、ダムサイトにはトイレやテントが張れるようなところが多い(TUさんの経験から)ということからです。残念ながら立ち入り禁止で近くまで行くことはできませんでした。もう一つは、今回千葉から来ていた団体から聞いた「檜葉町天神岬スポーツ公園」で帰路に立ち寄りました。海が見え、なかなかいいところですが、距離的に峠の森とあまり変わらず雰囲気も登山人には合わない感じでした。ただ、峠の森以外の宿泊場所探しは今後も続けたいと思いました。(報告者 H.T.)



杉林前面にあった竹林を伐採後



伐採した竹を運び出す



枝葉の切り落とし



竹を詰めた袋を前に



2日目 中央が手前の土地から剥がして  
積み上げたレンガ 右端の方は地主さん

# 県連たより

## 千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分  
(県連事務所に常駐者はいません)
  
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>  
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ  
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず  
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
機関紙委員会・広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号：ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、  
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は  
千葉県連盟ホームページから  
常時入会出来ます。
    - ・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
    - ・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  
  - ◎ 支援活動日のお知らせ
    - ・ 5月は休みます。
    - ・ 6月18・19日 福島県
  
  - ◎ 支援物資販売活動について
    - ・「ゆう」の財政活動として、支援活動に参加する皆様の、交通費補助に大変役立っています。  
引き続きご協力をお願いします。
    - ・三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」  
常時用意しています。  
宅配も、相談下さい。

支援物資に関する問い合わせは  
下記アドレスに連絡を！  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)



県 連 活 動 予 定 表

| 5月 |   | 行事予定           | 6月 |   | 行事予定             |
|----|---|----------------|----|---|------------------|
| 1  | 日 |                |    | 水 |                  |
| 2  | 月 |                | 2  | 木 |                  |
| 3  | 火 |                | 3  | 金 |                  |
| 4  | 水 |                | 4  | 土 | 自然保護学習会(七里川温泉)   |
| 5  | 木 |                | 5  | 日 | 県連一斉クリーンハイク(七里川) |
| 6  | 金 |                | 6  | 月 |                  |
| 7  | 土 |                | 7  | 火 | 県連役員会            |
| 8  | 日 |                | 8  | 水 |                  |
| 9  | 月 |                | 9  | 木 |                  |
| 10 | 火 | 県連役員会(県連事務所)   | 10 | 金 |                  |
| 11 | 水 |                | 11 | 土 | 県連初級者登山講習会(鹿沼)   |
| 12 | 木 | 「ちば労山ゆう」 役員会   | 12 | 日 | 11・12全国自然保護講座丹沢  |
| 13 | 金 |                | 13 | 月 |                  |
| 14 | 土 |                | 14 | 火 | 全国三役会            |
| 15 | 日 |                | 15 | 水 |                  |
| 16 | 月 |                | 16 | 木 | 県連理事会(西部公民館)     |
| 17 | 火 | 自然保護委員会(県連事務所) | 17 | 金 |                  |
| 18 | 水 | 全国三役会          | 18 | 土 | ワンコイン講習会(西部公民館)  |
| 19 | 木 | 県連理事会(西部「公民館」) | 19 | 日 | 19・20 NPO支援活動    |
| 20 | 金 |                | 20 | 月 |                  |
| 21 | 土 |                | 21 | 火 |                  |
| 22 | 日 |                | 22 | 水 |                  |
| 23 | 月 |                | 23 | 木 | 全国理事会            |
| 24 | 火 |                | 24 | 金 |                  |
| 25 | 水 |                | 25 | 土 | 県連代表者会議(西部公民館)   |
| 26 | 木 | 全国理事会          | 26 | 日 |                  |
| 27 | 金 |                | 27 | 月 |                  |
| 28 | 土 |                | 28 | 火 |                  |
| 29 | 日 | 第16回 ふれあいハイク   | 29 | 水 | 50周年実行委員会(西部公民館) |
| 30 | 月 |                | 30 | 木 |                  |
| 31 | 火 | 組織委員会(県連事務所9   |    |   |                  |

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治 編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ